

地域で特殊詐欺被害に遭わないために

はじめに

滋賀県内の犯罪発生の現状

1 特殊詐欺被害の現状

① 滋賀県内

平成29年中 161件 約5億円
平成30年中 107件 約2億8,000万円

③ 各市の状況 草津市内

平成29年中 19件 約1億6,000万円
平成30年中 17件 約3,000万円

栗東市内

平成29年中 7件 約240万円
平成30年中 4件 約750万円

2 特殊詐欺被害は深刻 ～ 社会問題

- ① 多額の被害により生活破綻し、家庭が崩壊する
- ② 自己嫌悪に陥る、病気になる等精神的な被害が大きい
- ③ 犯行の実態は悪質・巧妙化している

3 犯人の手口

- ① オレオレ詐欺
- ② 還付金詐欺
- ③ 架空請求詐欺

4 なぜ特殊詐欺被害に遭うのか

- ① 人の心理特性 ～ 犯人は悪用している ～
ア 「私に限って大丈夫」は何の根拠もない思い込み
イ 問題が発生したとき
- ② 人の心理特性を逆手にとっての犯行

5 詐欺被害に遭わないために

- ① 「ひょっとしたら もしかしたら私も」くらいは考えて
- ② あわてて即答・即行動しない。解決を急げば急ぐほど深みにはまる。まずは確認を。
- ③ 恥ずかしいと思わないで相談を

警察総合窓口 #9110
草津警察署 077-563-0110
滋賀県消費生活センター 0749-23-0999
消費者ホットライン 188 (いやや)

- ④ 家庭内での話し合いと離れている家族との連絡を ～ そして地域へと

5 特殊詐欺撃退の「あいうえお」

あ ～ あわてない い ～ 一度電話を切る う ～ 疑ってみる
え ～ 遠慮せず相談する お ～ お金は送らない、手渡さない、振り込まない

おわりに

すべてに通じる「もしかして ひょっとして」

不安や焦りなどを誘う
だまし文句で
心を揺さぶる

慌てず、騒がず、
心を静めて、
まず確認

子や孫になりすます

だまし文句

反撃方法

相手が誰かをしっかり確かめる

電話で…

「オレだけど、会社の小切手が入ったカバンを置き忘れた」

「会社の金を使い込んだのがバレて…」

などと言って、相手の焦りや動揺を誘い、「今すぐ“200万円”振り込んで(送って)」「同僚が取りに行くから、その人にお金を渡して」などと迫る。



- 「“オレ”って誰？フルネームを言ってみて」など、本人や自分、家族の名前を言わせる。
- 一度電話を切り、本人に電話をかける。

身内を名乗る者から電話で「携帯電話の番号が変わった。登録し直して…」と言われたら、電話を切った後すぐに、元の番号にかけて真偽の確認を。

警察官や銀行協会職員等になりすます

だまし文句

反撃方法

電話を切って自ら事実を確認

電話で…

「あなたの口座が詐欺事件に使われている」

「預金が下ろせなくなるので口座が凍結される前に現金を預かる」

など不安にさせる話を挙げ連ねては、あげくの果てに「担当者が行くのでキャッシュカードを渡して」「カードの暗証番号も必要」などと言ってくる。



- 焦って対応しようとせず、とりあえず電話を切る。
- 相手が所属するという警察署等の電話番号を自分で調べて確認する。

でたらめな機関の名称であれば電話番号は調査不能です。

訳の分からないお金を請求してくる

だまし文句

反撃方法

身に覚えのない金の請求は無視

ハガキで…

「『消費料金の訴訟最終通告』訴状が出ているので当方(法務省…)に連絡を」

メールで…

「有料動画の閲覧料金が未納」

などと動揺させるウソの文面を送りつけ、連絡してきた人に、裁判の取り下げ費用などの名目で電子マネーの購入などを求める。



- 問い合わせ先が記載されていても連絡しない。
- メールに返信しない。
- 大手事業者や公的機関を思わせる名称でも信用しない。

不安なときは、消費生活センターなどへ相談しましょう。

お金が戻ると連絡してくる

だまし文句

反撃方法

電話での還付金通知はまず疑う

電話で…

「年金の未払い分の受け取り手続きを…」

「医療費(税金)の還付手続きは今日の3時までですよ」

などと言って、喜ばせたり焦らせたりした上で、手続きと称してATMに誘導し、操作させて逆に金をだまし取る。



- 還付手続きのためにATMに行くよう言われたら詐欺！
- 心配なときは、自治体や税務署などへ連絡し、真偽を確かめる。

公的機関が、還付手続きのためにATMの操作を求めることはありません。